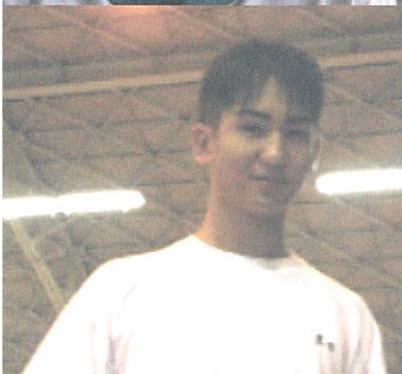
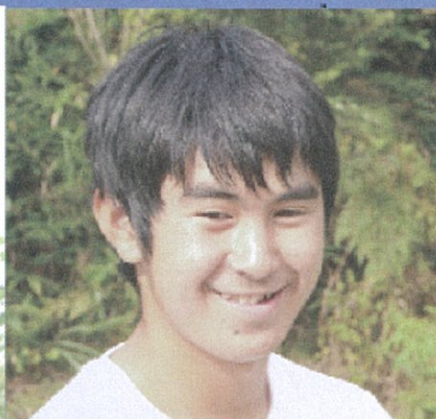


2015

さいき日和 秋

地域支援員だより



アーチェリーや女子野球部で注目を集めている廿日市市津田地区にある佐伯高校。現在の生徒数は83人。佐伯地域内から68人、佐伯地域外から15人の生徒が通っています。学校取材をさせていただいたところ、生徒はみなさんが笑顔でいろいろな話をしてくれました。

今回の特集は佐伯高校の生徒の「笑顔の理由」を探ってみました。受験シーズンを控えた中学生の皆さんにも読んでいただけると嬉しいです。

佐伯高校の生徒 に聞きました

- ①将来の夢
- ②佐伯高校を選んだ理由を教えてください。
- ③佐伯高校に通ってみてどうですか？

(内) 佐伯地域内から通っている生徒
(外) 佐伯地域外から通っている生徒

1年 女子 女子野球部(内)



女子野球部の部員が増えたり全国大会に出たいです。

2年 男子 女子野球部マネージャー(外)

- ①家具職人
- ③友達ができてうれしい。厳しいところもあるけれど、先生が怒らずに、ちゃんと話を聞いてくれる。毎日楽しい。

1年 男子 アーチェリー部(内)



- ①整体師
- ②アーチェリーで日体大に行きたいと思ったから。(整体師になるため)
- ③勉強がわかりやすい。

2年 男子(内)

- ①漫画家
- ③毎日楽しいけど、もうちょっと勉強をがんばりたいです。

1年 女子(外)

- ①保育士・花屋・音楽と関わる仕事
- ②都市部の中学校に通っていましたが、一人で過ごすことが多く、環境を変えようと思って、生徒数が少ない高校を選びました。
- ③みんな、おだやかで、やさしくて、すぐに友達もできました。毎日楽しいです。自然が豊かなので気持ち落ち着きます。自然が人に与える影響は大きいと思います。

2年 男子 音楽部(内)

- ①ミュージシャン
- ②高校に行くつもりはなかったけれど、中卒で仕事に就くのは難しいと言われて近くの高校を選びました。
- ③毎日、バンドの練習ができるから楽しいです。今は来てよかったと思っています。

3年 女子(外)

- ①建築士
- ③中学まではずっと一人でした。高校に入っても一人なのかなと思っていたけど今は友達がたくさんいます。卒業しても、この交友関係は続けていきたいです。

1年 女子 アーチェリー部(内)



助産師になりたいです。

3年 男子 アーチェリー部(外)



中学生へメッセージ

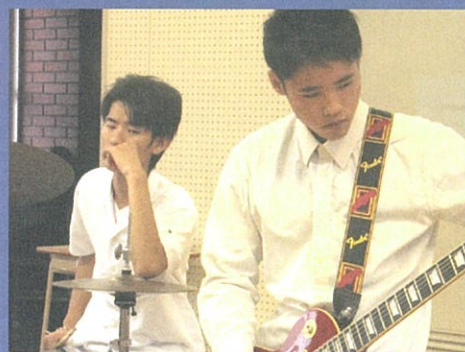
小さな目標を達成する積み重ねで、大きな目標を達成することができる。身近な目標を見つけて進路や人生を描くといいと思います。

3年 男子(外)

- ①看護師
- ②第一志望の高校に受からなかったため。からだが小さいので、いじめられるのが不安だったので、穏やかな高校を選びました。
- ③佐伯高校に来て、友達を怖がる必要はないんだなと思えるようになりました。勉強面は、第一志望の看護系の学校を目指すため、佐伯高校の補習授業を受けています。補習授業を受けるのは大変でしたが、なんとか、第一志望に進学できそうです。

放課後の風景

音楽部の2年。話してみると、とても素直でしっかりしていました。2年生の男子は特に仲が良いそうです。タイプの違う友達の内面に触れることができるのが生徒数が少ない高校の良いところ。「受け入れられている」という安心感があることで、個性(才能)を伸ばすことができるのだと思います。



取材を終えて

できるだけ多くの生徒から話を聞きたくかったので、1週間ほど佐伯高校に通って、約30人の生徒にインタビューさせていただきました。

生徒からは、「勉強が楽しい」という声が多かったです。その理由には、「少人数なので質問しやすい」「丁寧に教えてくれる」「先生との距離が近い」「わかるまで教えてくれる」などが挙がり、生徒と先生

との信頼関係がしっかりと築かれていると感じられました。

佐伯地域の子供も達は、地域の方々と接する機会が多く、様々な人間関係を通じて思いやりや気配りを育むことができます。友達との関係に悩んで佐伯高校にやってきた子どもが「自分の居場所」を見つけることができるのは地域の方々のあたたかさや大きな要因だと思います。佐伯高校の皆さん、ご協力ありがとうございました。

地域支援員の活動

水と緑と虹のマルシェ



岩倉ファームパークで「水と緑と虹のマルシェ」を行いました。8月のお盆を除く土日に、佐伯産の野菜などを販売しました。地元有志や地域支援員が実行委員会を作り、昨年より準備を進めて実現しました。佐伯の新鮮野菜や満月農園のポテトチップスの人気が高く、リピーターの方も多

ったようです。またお客さんからは「ここで野菜を販売してもらって便利です」とか「冷たいものがあれば利用したい」「来年もやってほしい」などのご意見をいただきました。実施日に行った、アンケートの結果をまとめて今後の活動にいかしていくそうです。

佐伯さくら号浅原線が便利になりました

9月1日から第2便がマックスバリュまで延長されました。バスに関するご意見・ご要望など、支援員へご相談ください。

玖島の自然

中村でフジバカマの仲間、サワヒヨドリが咲いています。

佐伯では春から秋までいろいろな花が見られます。



定住推進員が配属されました

昨年度まで吉和地域で支援員を務めていた吉富有美さんが、9月1日から廿日市市シティプロモーション室の定住担当として佐伯支所に配属されました。「空き家を

貸したい」「借りたいけれど、どうしたらいいかわからない」といった空き家のごとなど、お気軽にご相談ください。

編集後記

「さいき日和」の発行作業にも少しずつ慣れ、おかげさまで、3回目の発行となりました。今後ともよろしく願いいたします。

2015年11月1日発行

編集・発行 地域支援員 早川幸江 横井美奈 上田晴彦

〒738-0292 広島県廿日市市津田1989

廿日市市佐伯支所地域づくりグループ 電話 0829-72-1111

ホームページ <http://saikirainbow.wix.com/watasitatino#/inquiry/c24va>